Nishitokyo City
西東京市 議会だより

第７号
平成14年8月10日
（2002年）

〒188-8666 西東京市南町5-6-13　0424-64-1311　編集／議会報編集委員会　発行／西東京市議会

平成14年
第2回 臨時会
第2回 定例会



7月22日「NEWチャレンジわくわく未来探検隊」

7月20日「ちびっ子農業教室」



ボクたちのとったトウモロコシ

税源移譲を求める意見書等 国に提出

定例会・臨時会のあらまし

第2回定例会は6月7日から25日まで19日間の会期で開催しました。

一般質問は33人により、4日間行いました。

今定例会に市長から提出された議案は4件で、「西東京市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例」等2件は常任委員会に付託して審査を行いました。その結果、2件を可決、1件を承認、1件を同意しました。

皆様から提出された請願・陳情は「公契約条例制定に向けての請願」等21件で、継続中の18件を含め審査し、19件を採択、7件を不採択、13件を継続審査としました。

議員提出議案は6件で、1件を否決、5件を可決し、「国から地方に税源を移譲し、地方自治の拡充を求める意見書」等3件を関係機関に送付しました。

なお、定例会初日には田無庁舎ロビーの整備工事入札問題について6人から、最終日には福祉関係4法人5施設の設立に関する行政手続について1人から、それぞれ緊急質問がありました。

第2回臨時会は5月23日に開催し、「工事請負契約の締結について」等6件の議案が上程され、3件を同意、2件を承認、1件は撤回（第2回定例会に再提案され同意）されました。

また、議員提出議案2件を可決し、「有事三法案（武力攻撃事態法案、自衛隊法改正案、安全保障会議設置法案）の撤回を求める意見書」を関係機関に送付しました。

なお、特養ホーム「青い鳥」の建設問題について6人から緊急質問がありました。

紙面の紹介

・一般質問・会派名簿……2～6面
・常任委員会の審査状況、人事、請願・陳情の出し方……7面
・意見書、議案の議決結果一覧、請願・陳情の結果、編集後記……8面

議会日誌（平成14年4月～6月）

4月
11日 建設委員会
17日 文教委員会
22日 議会報編集委員会
24日 交通対策特別委員会

5月
8日 駅周辺再開発等特別委員会
20日 議会運営委員会
23日 第2回臨時会・本会議、議会運営委員会

6月
4日 議会運営委員会
7日 第2回定例会・本会議（緊急質問、閉会中委員会審査報告、議案等上程～付託）、議会運営委員会、全員協議会、議会報編集委員会
10日 本会議（一般質問）
11日 本会議（一般質問）、会派代表者会議
12日 本会議（一般質問）
13日 本会議（一般質問）、議会運営委員会
14日 総務委員会、厚生委員会
17日 文教委員会、建設委員会
18日 交通対策特別委員会、公園・緑地整備特別委員会
19日 駅周辺再開発等特別委員会、情報化推進等特別委員会、議会運営委員会
20日 総務委員会
21日 文教委員会
24日 本会議（緊急質問、委員会審査報告～議決、議案等上程～質疑）、議会運営委員会
25日 本会議（議案等上程～議決）

声の議会報をお届けしています。 お知り合いの方でご希望される方がいらっしゃいましたら中央図書館（☎65-0823）へお問い合わせください。

一般質問

自由民主党西東京市議団（自民西）　市民クラブ（市ク）
日本共産党西東京市議団（共産）　民主党西東京（民主）
西東京市議会公明党（公明）　自由民主党（自民）
生活者ネットワーク（生ネ）　市民の会（市民）

納得できる行政には正しい資料が必要！

森　輝雄（無所属）

質問「市長交際費で公的機関にビール券を配ったのは公金の不当な支出」との判決について。

市長　判決は納得しがたい。もう確定している。

質問　二度とこんなことがないようにしたい。

市長　自衛隊の法律違反を目にして、市長は有事法制にどう対処するのか。

市長　防衛庁の問題は極めて遺憾。市民の生命と安全は全力で守る。

質問　慎重審議を求める声明を出すべきだ。

市長　国会の審議を見守る。

質問　住民基本台帳ネットワークシステムの8月稼働は問題だ。

市長　全国市長会で、個人情報保護や安易な利用拡大をしないこと等の要望書を国に出した。

質問　プラスチック焼却説明会で、参加者を5つに区分した方法を示せ。

市長　担当部が意見を聞いて組織として判断した。

質問　分類した方法は。

市長　担当の総合的判断で結果を資料にして出した。

質問　うその資料だ。これが適正な事務か。どんな方法で分類したのか、事実を調べ関係職員を処分せよ。

市長　再調査はしない。

質問　決定の根拠、市民の理解を得たとの報告自体が間違いだ。調査せよ。

市民参加と言うがその中身が問われる！

高梨　功（共産）

福田官房長官の非核発言への市長見解を問う

質問　福田長官は非核三原則の見直し発言をした。西東京市は非核・平和都市宣言をしている。この発言に対する市長見解は。

市長　私の感覚から言えば控えた方がいい。

公民館運営審議会の各館設置を

質問　市長が言う政策形成過程からの市民参加を保障するためには、市民参加の典型である公民館の各館を独立館方式とし、各館に公民館運営審議会を設置することが必要だ。

教育長　社会教育法に基づく運営で市民参加は確保している。

柳沢公団通りを走るルートの確保を

質問　はなバス運行ルートの問題だ。柳沢方面、南部に行くと武蔵野市との境、五日市街道を走っている。市民の足であるならば、柳沢の中央部を走る路線の確保が必要だ。さらに、シルバーパスが引き続き利用できるようにすべきだ。

市長　ルート見直しの中で一つの課題となる。

都市整備部長　シルバーパスについては検討していく。

質問　新町5丁目の溢水問題の解決が緊急課題だ。

市長　実情に合った施設整備で解決に向け努力する。

来年度から介護保険料引き上げをやめよ

葉原　時美（共産）

質問「福祉手当が少なくなり、介護保険料を払うことが大変だ」「家族が疲れ切っているとき、2～3日でも預かってもらいたい」など切実な声は、両親を5年間、介護した経験から身につまされる、改善せよ。

市長は保険料を、来年度から基準額を3千6百円に引き上げようとしている。平成12年度と比較すると4倍以上だ。昨年度で2億円余の黒字だ。引き上げをやめ、減額、免除の制度をつくれ。

市長　市の独自施策による保険料の軽減は、審議をお願いしている。市民説明会等で市民の意見を聞き、利用料の軽減を検討する。

部長　保険料は確定ではない。準備金の取り崩しをどう使うかによって変動するし、十分協議する。

超高層ビル建設は、住宅や店舗の需要さえつかまぬ計画か

質問　ひばりヶ丘駅南口の再開発は、総事業費が133億円だが、東西の踏切対策と再開発はどちらを優先するのか、住宅は賃貸か分譲か、商業施策は店舗数は幾つか等、計画の全容を明らかにし、市民に説明せよ。

市長　財源や公共施設のあり方、区域の設定等調整し、市民に説明したい。

けやき小建設問題など市民本位の行政を

武藤　朝子（共産）

質問　けやき小建設工事が本格的に着工されるが、旧西原小の出火や解体工事での騒音、振動で近隣住民に大変な迷惑をかけ、行政への不信感が募っている。工事説明会で住民と約束した万全な管理対策は守れるか。

答弁　近隣住民との約束を守り、安全・安心を確保する。

質問　けやき小の学童クラブの定員は現在100名だが建てかえ後は80名で心配の声がある。今後の対応を問う。

答弁　2割増までは面積を確保し受け入れ可能である。

質問　旧保谷で一部実施の小学校給食の民間委託について、旧田無でも導入とのことで不安の声が上がっている。旧田無市民に、是非も含め意見を聞くべきではないか。

答弁　旧田無市民に十分説明し、市全域で実施したい。

質問　旧西原二小跡地利用は、市民参加で早期具体化を提起したが、検討状況を問う。

答弁　教育委員会は郷土資料館、スキップ教室を確保し、体育館、プール、校庭は地域に開放したい。今後全庁的に検討し決定する。

質問　市民窓口サービスについて合併後苦情が多い。特に介護・福祉窓口は高齢者、障害者が対象で丁寧な対応が必要。改善策を問う。

答弁　市民アンケートを実施しマニュアルも作成。サービス向上に全力を挙げる。

またも市民の負担増の道に踏み出すのか

安斉　慎一郎（共産）

質問　行財政改革推進委員会の答申には「市の財政状況はいまだ危険水域にある」とある。新市将来構想では「合併で財政力が強化される」と言っていたが。

市長　財政の健全性を確保するよう努力する。

質問　答申には「受益に相応した負担の見直し（引き上げ）」とある。新市将来構想では「負担は低い方に合わせる」と言っていたが。

市長　行政サービスを享受する者には、利益に応じた負担水準を検討する。

質問　答申には「保育園、小学校給食、学童クラブ、図書館、公民館の民間委託を推進」とある。新市将来構想では「サービスは高い方に合わせる」と言っていたが。

市長　民間委託を拡充する。

質問　答申には「新庁舎建設は構想すべきである」とある。市長の見解を問う。

市長　2庁舎を使うということで、市民からいろいろ苦情が来ている。検討していかなければならない。

質問　合併前の行革大綱で、学校給食の民間委託、公民館の本館・分館、敬老金の廃止、国保料・都市計画税の引き上げがされた。またその道に踏み出すのか。

市長　合併しても、行政を運営していく本質的な考えは変わるものではない。

学校選択制は市民的論議の必要な問題

倉根　康雄（共産）

質問　多くの保護者は導入を知らされていない。PTAや保護者にきちんと知らせ、もっと広いレベルでの論議を進めるべき。市民参加について十分なされたと認識しているのか。

答弁　子どもの生活と家庭の実態・意向調査で、70％強の賛成がある。また、市民も参加する学校選択制度実施懇談会で検討している。

意見　実態・意向調査の問いは「一部の区市においては公立の小中学校について通学区域の枠を越えて通学できる学校自由選択制度を取り入れています。このような制度についてどのようにお考えですか」であり、学校選択制を問題ありと意識的に考えている人以外当然賛成する。これでもって市民の賛成を得たとの認識は改めた方がいい。

質問　子どもたちに自由に学校を選んでもらうというが、学校は来てほしい生徒にアピールし、そうした生徒を集中させるために競争して特色を出そうとする。

　中・長期的には学力差等により序列化が生じ、学校側が入学者を選ぶことになるのではないか。

答弁　魅力や特色のある学校づくりに努力し、それによって子どもたちが集まってくる。切磋琢磨は必要だろう。

用語の解説

【一般質問】
　議員が議会の会議で、市の権限に属する行政事務全般にわたり、市長等に対し、事務の執行状況や将来に対する方針等についての報告、説明、考えを求め、これに対する疑問をただしたり、意見を述べることを言います。
　本市議会では、6月、9月、12月の定例会の2日目から4日間で行われます。
　質問者は、執行機関の明瞭な答弁を求めるために、議長の定めた期間内に、議長にその要旨を文書で通告します。
　現在の質問時間は、答弁を含め1人40分で、発言順序は抽選により決められます。

【ジェンダー】
　生物学的な性の違いに対して、社会の中で成長する過程で、こうあるべきだとして身についた性差観念を言います。

【オンブズパーソン】
　市民等に代わって行政の適正な運用を監視する専門員。従来は「オンブズマン」と呼ばれていましたが、近年「マン」が男性を示すことから「オンブズパーソン」と呼ばれるようになりました。

【ブックスタート】
　将来的に読書意欲を高めるために、ある年齢（1・2歳程度）に達した子どもに、年齢に合った絵本などを配布し、親と子が本を読む時間を共有する楽しさを伝える運動を言います。


保谷駅南口


東伏見駅東側踏切


女性相談室（市民会館2階）


ひばりヶ丘駅南口

保全林と周辺整備、地区会館について

朝倉　文男（共産）

質問　向台町5丁目の保全林を市が買い取って自然を生かした公園にしてほしいという声が強い。12月議会で当局は「地主の意向を確かめて検討する」と答弁したが、どう進んでいるか。

市長　都市計画マスタープラン、緑の基本計画に位置づけながら検討していく。

質問　保全林東側の市道は大雨が降ると川のようになる。現地調査を求める。また、道路を拡幅して歩道の設置を進めてほしい。

答弁　はなバスルートにもなっているので、市道整備を進めていく。（大雨時の現地も）調査する。

質問　（仮称）上向台地区会館は、今から14年9カ月も前に旧田無市議会で請願が全会一致で採択されたもの。一日も早い開館が待たれている。当初予定では昨年10月完成だったが、建設がおくれている。今年4月に住民説明会を開催してどんな設備を入れるかも懇談する予定だったが、開かれていない。今後どう進めていくのか。

答弁　開館は来年1月の予定。工期は5月21日から11月29日。備品の予算は200万円だが、内容や使い方については、夏から秋口にかけて、地域の方々と協議をしていく必要があると考えている。

市の責任で　障害者福祉の充実を

大川　真理（共産）

質問　来年度から障害者福祉は国や自治体の責任で行う措置制度から、利用者がサービス事業者と契約を結んでサービスを利用するという支援費制度へと変わる。サービスの種類、利用者負担額の決定など国の準備は遅いが、市の準備状況、関係者との意見交換、協議はされたか、デイサービスなど市が事業者となるか。

保健福祉部長　市報への掲載は6月に概要、制度変更のお知らせは9月・3月に、利用者説明会は8月に予定。事業者になるかは今後の国の指針をまちたい。

質問　支援費制度に変わることによって、サービスの低下にならないか。

市長　都の肩がわりをする考えはない。

東伏見駅周辺に公民館・図書館の建設を

保谷　清子（共産）

質問　東伏見駅周辺に公民館・図書館をつくってほしいという地域の人たちの要望がある。自転車に乗れないお年寄りや、学校5日制を迎えた子どもたちのためにも必要だ。建設を求める。

教育長　現在、建設計画は持っていない。公共施設の適正配置検討委員会の中で十分検討する必要がある。

質問　東伏見駅踏切の渋滞解消のために、市の対応を求める。

市長　積極的に対策を進めていきたい。

下野谷遺跡の保存を求める

質問　東伏見地域にある下野谷遺跡は、全国でも有数の縄文時代中期の大集落であることが明らかになりつつある。早急な保存が求められている。

教育長　土地を購入し、保存していきたい。

ごみ減量は「市民意識調査」に沿ったやり方で

質問　市は、ごみ回収の有料化を図ろうとしているが、「市民意識調査」によると、市民の考える減量に必要な取り組みは、過剰包装の抑制60.2％、リサイクルシステムの確立57.6％などで、ごみ回収の有料化は7.7％と少ない。有料化でなく、市民の考えに沿ったやり方でごみ減量を進めるべきだ。

市長　有料化が減量のすべてではないことは認める。

男女平等推進図れ　戸別収集で安心アップ

安岡　厚子（市民）

質問　新設の女性相談窓口の専門相談員の確保、PRなど準備は大丈夫か。ジェンダーオンブズパーソンの設置の見解は。女性センターの設置の検討はしているのか。学校教育のジェンダーの取り組みはどうか。

市長　7月8日に市民会館2階に相談室を設置する。女性センターは公共施設の有効利用を含めて検討する。

市民生活部長　7月1日の市報でPRする。推進計画の中で、ジェンダーオンブズパーソンは位置づけられると考えている。

教育長　人権尊重教育推進委員会の中で取り組む。学校内では、掃除、教育、体育、技術、家庭の中で男女で取り組んでいる。

質問　ひとり暮らし高齢者、障害者世帯対象の家庭ごみ戸別収集サービスを提案する。ごみ出しの依頼がヘルパーの仕事の中で増加していると聞く。64.8％が高齢者のみ世帯である本市では、安否確認からも検討すべきである。

環境防災部長　収集方法の統一に合わせて、福祉部局と調整を図り、申し込み制により実施したい。

質問　予想される介護報酬の見直しの影響は。

保健福祉部長　本市では施設6割、在宅4割なので保険料アップの影響はない。

高齢者見守り制度　学校選択制について

土井　節子（市民）

高齢者見守り制度を

質問　ひとり暮らしや高齢世帯がふえている。介護保険制度や配食サービス等を利用していないお年寄りの安否確認システムを、在宅介護支援センター等を有効利用してつくれ。

答弁　実施に向けて準備中。9月に「実態調査」を実施。

在宅介護支援センターのPRを

質問　市内に7カ所ある在宅介護支援センターは、在宅の高齢者の総合相談の場だが、利用度は1％未満と低い。もっとPRをして、市民が気軽に相談できる場にすべきだ。

答弁　積極的にPRに努める。

学校選択制は慎重に

質問　学校選択制は、小中学校に競争原理導入が是か非か、PTA・保護者・住民の説明や合意はあるか、スケジュール的に無理はないか等問題が多い。慎重な議論が必要だ。安易に導入すべきではない。

答弁　予定どおり実施したい。

入札制度の透明化を図れ

質問　この間、入札制度改革について提言してきた。予定価格の公表は前進だが、入札経緯や結果をホームページでの公表、一般競争入札の拡大等も必要だ。

答弁　早急にホームページでの公表をする。その他についても今後の検討課題だ。

はなバス路線の検証と新路線の運行を！

酒井　澄（自民）

合併記念公園について

質問　公園は交通アクセスが整うか否かで「公園」にもなり、ただの「空き地」にもなってしまう。17年の開園までに交通アクセスの整備を急ぐべきである。

市長　ご指摘のとおりである。開園までに「足」の確保に努めていく。

はなバスの運行について

質問　第3路線の東伏見循環ルートは著しく乗車率が低い。利用者増が見込める柳沢団地通りから柳沢駅南口へとルートを見直せ。

市長　4路線も含め検証していきたい。

自転車駐車場について

質問　柳沢駅南口は、駅広の歩道上や都営敷地内に約600台の自転車が放置され、通行の障害となっている。①至急、対処すべきだ。②恒久的な対策として駅前広場に立体式の駐車場を建設し、駅の改札口と結ぶ抜本的な対策を検討すべきだ。

市長　①西側踏切横の土地所有者と折衝し検討する。②景観に配慮し、1千台ほどの立体式駐車場を考えたい。

学校5日制について

質問　学習時間の減少で保護者に不安を与えているが。

教育長　学習面、文化面の土曜スクール等を準備中だ。

要望　はなバスの保谷庁舎のバス停に至急、屋根等上屋を建設するよう要望する。

保谷駅西側のあかずの踏切解消!!

浅野　高司（自民）

質問　練馬区では江古田駅付近のあかずの踏切解消に向けて、歩行者や自転車利用者が安心して通行できる地下横断歩道を建設したと聞いている。本市においても練馬区の例をモデルに、保谷駅西側踏切の地下に高齢者・障害者のためにエスカレーター、手すり、自転車用スロープ、防犯用のセンサー感知、光感度照明などを設置した横断歩道を建設されるよう、東京都・西武鉄道に早急に働きかけてほしい。

市長　再開発を進める中で都・西武鉄道と交渉を進めたい。

都市計画道路田3・4・9号線（住吉町～ひばりが丘間）の全面開通について

質問　長年にわたる懸案事項であった当該道路については、市長・担当部の努力により地権者との大詰めの協議が進んでいると聞くが、全面開通の見通しは。

市長　地主さんの協力をいただいた。本年中に全面開通にこぎつけたい。

都市計画道路保3・4・13号線（保谷～東伏見）の進捗状況

質問　この道路の整備は、国の補助が採択され、地権者との話し合いが進んでいると思うが、現在の状況は。

市長　保谷駅南口再開発を進める。アクセス道路として重要であり、完成に努力する。


向台学童クラブ


東伏見駅南口


タコ公園（向台公園）


文理台公園

「入札制度」について

小林　たつや（自民西）

質問　去る4月23日、情報化推進等特別委員会で横須賀市の電子入札制度を視察した。一方、我が市では、先日の臨時議会で入札経緯についての問題が生じ、工事請負契約議案が撤回されるという根本的な問題が浮上した。今後市の入札制度についてどのような対応をされるのか以下伺う。

①今後行われる大規模工事等において、市内業者を含んだJV（共同企業体）の導入及び考え方は。

②横須賀市の電子入札制度の本市への導入について、また調査研究はどの程度進んでいるのか。

答弁　JVについては、規模、内容、効率性を考え、また市内業者育成を考え、案件ごとに検討したい。

電子入札については、西東京市に適するような制度導入を平成16年度を目標に進めていく予定である。

本年10月からは（仮）都区市町村電子自治体共同運営・共同開発協議会に加入し、入札制度や公証、認証システムの共同利用の検討に入る。

また本市における電子入札制度導入の試算等は、まだ行っていない。

提言　市内業者育成のため、保谷駅南地区再開発事業等に市内業者を含むJV導入を。公正な入札制度のために早急な改革を望む。

道路整備と公園維持管理について

鈴木　久幸（自民西）

質問　都道233号線の道路整備で、現在保谷庁舎から保谷郵便局の間が歩道整備されているが、その先の青梅街道までの整備の進捗状況を伺いたい。

文理台公園の広場について、開園当初のような緑鮮やかな公園であるべきだと考えるが、今後どのような維持管理を行っていくつもりかご見解を伺う。

答弁　都道233号線の保谷郵便局より青梅街道にかけての計画は今のところないが、次のステップとして東京都に要請していくつもりだ。文理台公園の広場については市民の協力を得、今後検討していきたい。

質問　都道233号線は、全部一遍にやるのは無理でも、交通状況の悪い部分、特に新青梅街道から青梅街道の間だけでも、市長の方から都に要請していただきたい。

文理台公園の広場も、市民の利用状況を踏まえた上で、全部一遍にするのではなく、部分部分に分ける等、計画を立てて維持管理してはどうか。

答弁　文理台公園については、現在同様の趣旨の陳情も提出されている。今後の利用状況、内容を十分調査した上で、都市整備部として芝生等の養生を検討してまいりたい。

学校週5日制　実施の現状について

海老沢　進（自民西）

今年の4月から市立小中学校で完全5日制が実施された。授業時数2割・内容が3割縮減されたことで、種々議論が起きている。実施後2カ月の現状を伺う。

質問　現時点での生徒・先生方の感想は。

答弁　ウイークデーは授業がふえきつくなったが、少しずつなれて定着するようだ。土日は授業から解放され充実したと聞く。

質問　生徒の土日の過ごし方について聞いているか。

答弁　家の手伝いをすると喜ぶ親もいる。部活や対外試合などが土日に移り、活発になった面がある。

質問　「総合的な学習の時間」の評判はどうか。

答弁　中学生の職場体験で、働くことの意味、市内コロンビア人との触れ合いでの国際理解の例など、体験で学ぶ効果が大きいと聞く。

質問　授業内容が減り、学力の低下は心配ないか。5日制をとらない私立との格差はどうするか。

答弁　少人数学級や習熟度別学習、チームティーチング等を充実させ、基礎学力を徹底的に教える。詰め込み知識ではなく、応用力、「生きる力」を教育していく。社会教育、家庭教育とよく連携する。

市政は市民の心を心として取り組め

遠藤　源太郎（自民西）

質問　施政方針を読む限り、市長の子育て支援策は一面的である。すべての子育てをしている家庭と子どもを対象にするべきだ。

答弁　ご指摘の面もあるが、市民全体を忘れてはいない。

質問　地域で支え合う福祉のまちづくりは、コミュニティと考えてよいのか。

答弁　非常に難しい課題だ。

質問　溢水箇所解消に積極的に取り組むべきだ。

答弁　地域の実情に応じた整備を行っていきたい。

質問　雨水は貴重な資源でもある。活用を図れ。

答弁　雨水対策と並行して公共施設には有効活用する。

質問　自然との共生を支えるグリーン産業を育成せよ。

答弁　例えば剪定枝のチップ化、堆肥化に取り組む。

質問　タコ公園付近の交番設置について、その後の警察との協議経過は。

答弁　要望地域のパトロール強化に努めつつ検討したいとの回答、引き続き要請する。

質問　学校5日制の受け皿は。

答弁　現在、地域も含め組織づくりに取り組んでいる。

質問　幼児期に絵本とのかかわりを持つと心の発達、ひいては人格形成に有効である。ブックスタート活動を始めよ。児童館に絵本が少ない、充実させよ。

答弁　児童館のスタッフと絵本の充実に努めていく。

失業者対策を推進せよ

西村　誠一（自民西）

質問　改革を進めるとリストラなどで一時的に失業者が増加すると言われて何年もたつが、景気は一向によくならない。昨年末は失業率が最悪の5.6％だ。今年5月に景気、消費も底をついた。国民総生産はプラス1.4％、年率では5.7％、輸出、消費が伸びたと発表された。今までは高齢者の就職が悪いと言われていたが、今年度は新卒者の就職が過去最低だ。高卒などは前年より10ポイント以上悪い。東京都内だけでも失業者が32万人、三鷹職業安定所では、パソコンを80台設置し、自分の条件に合う職種・給与を選び会社を訪問する。西東京市は毎月田無・保谷庁舎で就職相談会を開催している。市報に「しごとフェアーin西東京を市民会館で6月28日午後1時から三鷹職業安定所と共催で就職面接会を開催☆参加企業　西武線沿線を就業場所とする企業約20社」と掲載してある。今後も継続して就職面接会を行うのか。就職難で失業者が増加しているときだ、市行政として雇用を促進すべきだと考える。

答弁　市では毎月就職相談会を開催している。職安と共催で「しごとフェアーin西東京」を6月・10月に市民会館で開催する。

中学校給食・扇風機設置の教育環境整備

岩越　笙子（公明）

早期に子ども総合支援センター建設を

質問　発達支援センターと家庭支援センターを統合したセンターが必要、計画は。

市長　素案づくりを担当プロジェクトで10月を目途に進めている。

質問　都は家庭支援センターを16年までに市町村に設置を求めているが、予定は。

市長　ピッコロハウスでの開設を検討している。

向台学童クラブの対応

市長　9月に余裕教室で分室を、15年4月を目途に旧住宅局跡地で第2学童クラブ開設の努力をしている。

中学校給食民間委託的導入

質問　弁当外注方式は、早期実現を望む市民対応と理解しているが、行政のかかわりは。

教育長　献立をチェックする栄養士を配置、栄養管理等協議する連協を設置する。

小中学校の全教室に扇風機を設置せよ

質問　夏の教室は40度になり勉強できる環境にない。クーラー設置は長期計画で行う必要があるが早期対応として扇風機設置の計画は。

教育長　年次計画を立て1・2年生からと考えるが、財政面等検討したい。

ブックスタートの早期実施を

質問　乳児には話しかけてくれる言葉が必要、考えは。

教育長　今、検討している。

市民はお客様!!　市はサービス業に徹底せよ

衣袋　一夫（公明）

サービス業としての市役所の窓口対応について

質問　三鷹市では接遇マニュアルで市民の呼び方を「お客様」に統一したが、どのように評価をしているか。また、西東京市の職員サービスマニュアル「お客様の声から学ぶ」が作成され、この6月に全職員に配付されている。この中身にあるように全部できたら、市民からの苦情はなくなるのではないか。今後具体的にこのマニュアルをどう利用し、進めていくのかを伺う。

市長　市役所は市民に役に立つところ、最大のサービス機関であると私も思っている。また、市民の皆さんを「お客様」という言い方をさせていただいている。作成した若手職員は、今後もチェックする使命を持ってほしい。

総務部長　本年7月から部課長を対象にこのマニュアルに基づいた研修を予定しており、次に係長職を対象に研修をしていく。

質問　日曜日にしか役所に来られない方がたくさんいる。豊島区は市民サービス向上のため5月より第3日曜日に窓口を開設した。西東京市でも実施できないか。

市長　事例を研究し、検討する。


福祉窓口サービス


柳沢小学校


天神山交差点


早稲田プール跡

高齢者世帯にテレビ電話の設置など

新井　五郎（公明）

質問　練馬区では4月から定期的に65歳以上のひとり暮らし世帯を訪問するサービスを開始したが、当市では高齢者世帯にテレビ電話を設置して、安心と安全のサービスを提供してはどうか。

市長　現在行っている友愛訪問や民生委員の訪問も有効な手段であると考えるが、テレビ電話など発達したマルチメディアの活用も今後の研究課題として取り組みたい。

質問　いよいよ6月23日に岡山県新見市で全国初の電子投票が行われる。レンタルで、当初の予算より60分の1で導入できることになった。当市でも導入を考えてはどうか。

市長　新見市のケースは、PRのための無料奉仕に近く、実際の導入経費は明確になっていない。今後導入に向け調査・検討を行う。

質問　電子入札は公明性が高い。ぜひとも導入を。

市長　電子入札は公明性・透明性を考え非常に魅力ある方法であると認識している。本市にふさわしい制度となり得るか検討していく。

質問　学校の耐震診断はどうなっているか。

教育長　小学校は15年度で、中学校は17年度ですべて終了する。

高齢者・障害者にやさしいまちづくりを

鈴木　宏一（公明）

―3駅のバリアフリー化―

質問　高齢者・障害者の外出や社会参加の促進のため、出入り口からプラットホームまで、エレベーターなどを使って車いすに乗ったまま自力で移動できるよう早急に交通バリアフリー基本構想策定委員会を設置し、実現に向け努力すべきだ。

市長　14年度整備計画を策定し、3カ年計画で国庫補助金を活用し駅構内外のエレベーター・エスカレーターを順次設置していきたい。

―中町、住吉町、泉町地域にはなバスの運行を―

質問　都市計画道路田3・4・9の開通後、交通不便地域解消のため、ひばりヶ丘駅方面へのはなバスの運行を早急に検討すべきだ。

市長　開通後は民間バスの新設も含め検討していく。

―多摩の市外局番―

質問　東京都に三多摩地域の市外局番検討会が設置された。関係10市の意思表示があるようだが、市長が先頭に立ってリーダーシップを発揮すべきと考えるが。

市長　武蔵野・三鷹単位料金区域の各市とも連携して積極的に対応していく。

―環境基本計画とISO―

質問　市民の意見を行政に反映させ、家庭版の環境ISO制度の創設を提案する。

市長　基本調査及びアンケートを実施し反映させたい。

地域スポーツの活性化の支援を！

桐山　ひとみ（民主）

質問　公共施設予約管理システムの延期後の検討内容について伺う。

教育長　システムのメインは公民館と体育施設。従前の予約の内容のままシステム化できないか検討中。10月目途に考えている。

質問　体育施設における体育協会の事前予約についての協議内容は。

教育長　体育協会と話は進めているが、優遇措置というより、活動日の確保を考えている。自分の練習、技術の向上等だけではなく、一般市民の方にも参加してもらう部分を確保するという形で検討している。

質問　任意のスポーツ団体についても、体協と同様に活動日の確保ということでの事前予約はできるのか。

生涯学習部長　体協に加盟していない団体は、体協と同様の形で場を確保できるようにしたい。

質問　総合型地域スポーツクラブについて、今後市の取り組みは。

教育長　ぜひスポーツクラブを立ち上げたいと考えている。来年8月いっぱいでけやき小を移転する。今のけやき小と旧西原小が全くあく。体育館、プール、グラウンドを一つの拠点、モデルということで立ち上げてみてはどうかと考えている。

市民が求める施策は高齢者・障害者福祉

蔵野　雅章（民主）

質問　5月15日付市報によれば、重視すべき政策の第一位が高齢者・障害者福祉の充実であった。この市民意向調査結果をどう受けとめるのか。障害者基本計画策定への市民参加の手法は。

市長　市民意向は至極当然な市民の皆さんの考えであると受けとめさせていただいた。可能な限り意向に沿って進めたい。

意見　「福祉優先」という市の方向性を具体的な施策の中でもっと示してほしい。

質問　1月に一部事業決定された東伏見公園計画の現況は。市民への情報の公開と説明をすることが求められる。西東京市として公園建設についてどういう意思を持っているのか。

市長　この東伏見公園の事業は必要な事業であるとの認識を持っている。

質問　調布保谷線に係る環境緑地帯の効果は、PRの方法は。

市長　誤解を持たれる方に対しては、誠心誠意ご説明をさせていただいて、ご理解をいただくよう努力する。

意見　市民への情報公開と説明責任が不十分ではないか。市民の合意形成を丁寧に行うことが大切。

質問　学校通学区域の選択制、市民参加が十分でない。

教育長　説明責任を果たしていく所存である。

「はなバス」シルバーパス利用の延長を

二木　孝之（民主）

質問　「はなバス」でのシルバーパス利用は、発行済み有効期限の9月30日までは利用できることに改めていただいた。引き続きシルバーパスの利用を認めるように強く求める。

市長　現時点では延長を考えていない。強力な要請でもあり、検討の余地はある。

天神山交差点について

質問　天神山交差点交通安全に関する請願が採択をされている。進捗状況を示せ。

市長　丸正ストア前、東西の横断歩道移設と信号機の廃止など、関係機関との調整が整い次第、今年度中に改良事業に着手する予定。

意見　丸正さん前の、段差のある歩道やスロープについても一体で改修せよ。

利用しやすい歩道に改修を

質問　東伏見公団内の「さくら公園」設置に伴い、公園北側に位置する東西道路の歩道は、ガードレールでふさがれ延々と切れ目なくつながっている。ガードレールの切り開き等の改修を。

市長　不便をかけている。現在関係機関と調整中。

公立保育園の給食について

質問　指導食である職員給食を廃止したのはなぜか。

市長　14年度から1市2制度の保育体制を統一した。調理室のスペース問題などがある。今後施設改修を進める中で改めて検討する。

歩きたばこをなくす努力をせよ

石毛　茂（民主）

質問　最近歩きたばこの火による幼児の負傷事故や服などを焦がす事故が後を絶たない。西東京市もISO14001認証取得キックオフ宣言をした。歩きたばこについてどう考えるか。

市長　人に迷惑をかけないように、マナーを守る喫煙家であることを期待する。

質問　国会で身体障害者補助犬法が成立した。成立の背景には、店や交通機関等の、受け入れ側の善意によるものとの考えが根強く、権利と解釈されてこなかったためにある。市は心のバリアフリーをどのように広めていくのか。

保健福祉部長　今後、周知については東京都、市独自の方法も含め検討していく。

質問　戦時中、武蔵野市に東日本最大の軍需工場、中島飛行機武蔵製作所があった。労働力不足を補うために数千人の10代の生徒が飛行機の部品づくりに学徒動労労働として駆り出された。1944年11月以降の空襲で判明しているだけでも学徒17人が死亡している。市内にも慰霊碑がある。こうした歴史を子どもたちにどう伝えていくのか。

市長　戦争の悲惨さを知ってもらうことは大切であり、今後も平和行政に取り組んでいく。

市民の活力が生きる市政執行を求める

茂木　千佳子（生ネ）

―地域振興基金について―

質問　ネット提案で、市民融和を目的とした地域振興基金1億円が実現した。市民の事業提案募集が大切。

市長　今年度は、非常に好評を得ている「新市誕生記念市民映画祭」「田無・保谷むかし話」「少年野球・サッカー教室」の予定。

企画部長　各担当課からの事業提案で行っている。来年は合併3年目であり、より幅広い市民との連携事業を検討したい。市民の協力をいただく以上は、より効果的な情報提供のあり方を考える。

―溢水対策について―

質問　フラワー通り、泉町5丁目の大黒屋酒店周辺など、梅雨どきは毎回水浸しになる。溢水地域の被害基準を策定し、改善の手法と費用をシミュレーションし計画的に取り組め。

都市整備部長　今後、道路や公共施設の整備を進めるときに、地下に雨水対策を検討したい。

―飲料水の地下水を守れ―

質問　東伏見公団の飲料水であった井戸の保全を提案し、地下水利用の親水公園「さくら公園」が実現した。災害時にも役立つ井戸の保全政策を伺う。

市長　雨水は財産である。深井戸の現状把握をしていきたい。


柳泉園（ごみ処理施設）


オンライン端末（住民基本台帳等）


入札掲示板（田無庁舎契約課）


東大農場

学校自由選択より学校生活支援員制度を

森下　典子（生ネ）

介護保険の改善提案

質問　ケアマネジャーの質の向上、ショートステイ利用手続の簡素化を求める。また介護予防、自立支援サービスの充実に向け、高齢者地域福祉計画に数値目標を明記して位置づけよ。

保健福祉部長　ケアマネの分科会で情報交換、事例検討、学習会、研修会を実施しており、今後も継続する。ショートステイの医師の診断書は簡素化に向け協議中。介護予防は重要な施策と認識している。介護保険事業計画と調和のとれた高齢者地域福祉計画を検討したい。

学校生活支援員制度

質問　介助の必要な子どもや不登校、外国人の子どもなどの学校生活を支援する専門スタッフを置く自治体がふえている。緊急雇用対策特別交付金を活用するなどで検討すべき。

教育長　交付金は15年度で終わる。財源的に厳しい。

子育て支援計画の策定

質問　子ども福祉審議会の答申をどう受けとめるか。

市長　子どもの権利の実現、すべての子どもと親への支援、男女共同の子育て、循環型の子育ての4つの基本理念を踏まえた計画が策定されるものと考えている。

◆青嵐中建替協議会に子どもと公募市民を加えよ。

◆天神山交差点改良を急げ。

学校選択制は慎重に用途地域は市基準で

渡辺　嘉津子（生ネ）

☆学校選択制は市民の間で賛否が分かれている。ゆえに、十分な議論と市民参加のもとで結論を出すべきだ。

質問　①実施懇談会メンバーは旧両市のバランスを欠いている。人選の基準を示せ②市民意見を聞く場をつくれ。

答弁　①校長会に依頼②考えていない。

質問　①保護者代表は、組織化されたPTA・保護者の会連絡会に依頼すべき②新制度なのだから広く市民の意見聞くべき。教育行政は市民とともに教育をつくる考えはあるのか。

答弁　①P連が組織化されていないと聞いている②市民を無視する考えはない。

☆建ぺい率や日影制限等が大幅に緩和された改正建築基準法を受けて、用途地域の見直しが行われる。法改正で大型マンション建設による住民紛争が従来以上に危惧される。

質問　①用途地域見直し素案は都基準でなく、市独自の方針・基準を策定して行え②素案策定過程への市民参加を進めよ③見直し策定スケジュールを早く市民に示せ。

答弁　①市独自の方針・基準は考えていない②素案の段階で市民説明会をし、意見を参考にする③市報でPR。その他◆家庭用ごみ分別マニュアル◆田無駅前トイレ等。

生涯学習の条件整備について

猪野　滋（市ク）

生涯学習の条件整備が新市まちづくりの基本理念である「21世紀を拓き緑と活気にあふれ一人ひとりが輝くまち」づくりに早急に必要との観点から質問を行う。

質問　生涯学習、その必要性、推進の視点、現状と課題は。

答弁　生涯学習とは、人生のあらゆる機会にみずからが主体的に学び続けること。情報と場の提供が行政の役割。課題は西東京市としての生涯学習推進計画の策定。

質問　生涯学習を支援・援助する社会教育の条件整備をどう進めるのか。

答弁　全市民が、いつでもどこでも学習できる条件整備について計画的に進める。

質問　全庁横断的な生涯学習への取り組みは。

答弁　教育委員会だけでなく、市長部局や文化・スポーツ財団、社協など市全体での推進体制が必要と考える。

質問　総合計画、基本構想、計画への生涯学習及び社会教育の位置づけは。

答弁　構想に理念を述べ、計画のローリングの中で個々に組み込んでいきたい。

質問　生涯学習の条件整備に当たっては、地域情報化推進と連動した市民参加の手法を取り入れるべきと考えるがどうか。

答弁　従来の市民参加による策定委員会方式を検討する。

入札事務とリサイクルセンターについて

相馬　和弘（市ク）

質問　田無庁舎市民ロビー整備工事に関して、契約議案の撤回、入札の無効とやり直しの事態となった。市民への影響をどう認識しているか。

　入札制度の改善については、透明性、公平性、競争性の確保の観点から検討委員会が設置をされたが、検討課題について伺う。

　市の公共事業の発注業務を第三者の立場から検証、監視をする入札監視委員会を設置する考えはないか。

　合併記念公園整備事業について、基本設計と実施設計の対象業者選定の基準を変更した理由は何か。

答弁　ご迷惑をおかけした。工事検査結果・成績の公表、最低制限価格の公表等も検討していきたい。

　第三者監視機関の設定は検討したい。公園事業は、幅広く設計に参加していただく考えで条件を緩和した。

質問　容リ法対象のその他プラスチックの分別収集は17年度からスタートする。用地確保及び運営をPFI方式の活用を考えてはどうか。調査・研究せよ。

答弁　可能であれば取り入れたい。視野に入れる。

質問　リサイクルプラザ建設費約7億円の積算根拠は。

答弁　想定額であるが、RC構造・総2階で1800平米の構造物を予定している。

将来像を持った西東京市のまちづくりを

渡部　保男（市ク）

質問　合併の際策定された新市建設計画は、総合計画の骨格として組み込まれる必要があると思われるが。

答弁　御指摘のとおり、新市建設計画は総合計画の骨格をなすものと思っている。

質問　総合計画を策定する際、新市の将来像・ビジョンを示し、その骨格となる基幹的事業を選定し、それを重点的に推進するまちづくりの手法、プロジェクト方式を採用する考えはないか。

答弁　総合計画を策定する中で重点プロジェクトについても検討してまいりたい。

質問　土地利用計画を策定する際、最低5つの駅周辺・南部地域・中部地域・北部地域のゾーニングを含め、地域地区別面整備計画を策定する考えはないか。

答弁　西東京市は、2本の線路で3分割されている。その現実を踏まえて計画は考えなければならない。道路整備のおくれから、鉄道との交差する設備がおくれている。

質問　都市計画の基本方針『都市計画マスタープラン』の策定とあわせて、面整備計画を住民合意の上進める考えはないか。

答弁　総合計画の策定と並行して、都市計画マスタープラン・土地利用計画など、整合性を図りながら進めてまいりたい。

社会福祉法人設立経過の疑問点について

林　一夫（無所属）

質問　西原樹林会許認可に当たって、当時の東京都の局長は、「青い鳥」以外に平成11・12年度に許認可された法人の認可業務にもかかわったのか。

答弁　逮捕・起訴された元福祉局長は、高齢者を中心とした室長職（局長クラス）だったと記憶している。

質問　西原樹林会の市への回答書では、明らかに違法行為とみなされる寄付金、建設会社の寄付依頼ということで議題になっていて、何のために西原樹林会をつくったかというところに作為的な面が見えるがどうなのか。

答弁　本件は、既にさいたま地検で起訴されているので、今後裁判の経過の中で明らかになるものと考える。

質問　市の意見書は、平成7・8・9年と3度出されているが、決裁の方法に問題はないのか。他の法人についても、同じやり方で問題はないのか。

答弁　平成11・12年にできた幾つかの法人施設があるが、ご指摘を踏まえ、事実の究明をしていきたい。

質問　東大農場の移転については、どう聞いているか。また、西東京市職員の執行体制の確立はどうか。

答弁　現在情報を集めている。また、職員間の融和のため努力している。

会派名簿

自由民主党西東京市議団（自民西）
代表　中山　寛子
保谷　育彦
鈴木　久幸
浜野　重男
西村　誠一
遠藤　源太郎
小林　たつや
海老沢　進

日本共産党西東京市議団（共産）
代表　武藤　朝子
朝倉　文男
倉根　康雄
大川　真理
葉原　時美
保谷　清子
高梨　功
安斉　慎一郎

西東京市議会公明党（公明）
代表　麦倉　一眞
新井　五郎
衣袋　一夫
岩越　笙子
佐々木　順一
鈴木　宏一
高橋　司朗
田崎　敏男

市民クラブ（市ク）
代表　相馬　和弘
渡部　保男
猪野　滋
村俊　介

民主党西東京（民主）
代表　石毛　茂之
二木　孝章
蔵野　雅彦
桐山　ひとみ

生活者ネットワーク（生ネ）
代表　渡辺　嘉津子
森下　典子
茂木　千佳子

市民の会（市民）
代表　土井　節子
安岡　厚子

自由民主党（自民）
代表　浅野　高司
酒井　澄

無所属
森　輝雄

無所属
林　一夫

常任委員会の審査状況

総務委員会

「西東京市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例」

【説明】地方自治法の一部改正に伴う規定の整備を行うもの。

【結果】全員賛成で可決

「公契約条例制定に向けての請願」

【内容】建設労働者の生活の安定と建設業界の健全な発展のため、公契約条例（公共工事における賃金確保条例）の制定に向けた検討を求める。

【説明・質疑応答】公契約条例については、まだ情報収集の段階である。



公共事業における最低賃金の目安については、東京都の基準単価に準じて設定している。

下請等へのダンピングの防止については、賃金の支払いが適正に行われるよう助言・指導したい。

【意見】地方分権の中、他の部署とも連携して積極的に条例制定に向けて検討すべき。

契約書等を結ばない信頼関係での仕事もあり、十分研究してほしい。

【結果】全員賛成で採択

「公共工事における賃金等を確保する条例（公契約条例）制定に向けた陳情」

【結果】上記「公契約条例制定に向けての請願」と同趣旨のため、みなし採択

文教委員会

「向台小4年3組児童及び教職員の緊急時避難路の見直しを求める請願」



【内容】向台小東校舎4年3組の児童及び教職員の緊急時避難経路について、東校舎西側に非常階段を設置し、2方向の経路の確実な確保を。

【質疑応答】学校長を飛び越えて対応はできないので、PTAと学校長とでよく調整していただきたい。池田小の事件以降1日2回学校と通学路の警備を行っている。また、学校長の許可なく外部から立ち入らないよう門を閉め、看板等も設置して注意を呼びかけている。

【結果】「教育委員会は学校とよく協議し、願意に沿うよう努力されたい」との意見を付し趣旨採択

「市立小・中学校選択制実施を拙速に決定しないことを求める請願」

「学校選択制については性急な実施をせず、慎重に行うことを求める陳情」

【内容】学校選択制については、性急な実施を避け、十分な情報提供の上、関係者等の意見を尊重して慎重に行ってほしい。

【説明】学校選択制は、平成14年度の教育目標の中で導入を検討することとしており、庁内検討委員会及び学校選択制度実施懇談会の結論を経て、実施しようとするものである。教育委員会に報告し、一定の方向性が出れば、7月以降市報で詳細を説明し、2学期には学校ごとの説明会を実施、4月には新入学児を受け入れたい。

【質疑応答】学校説明会の前段としてPTA・保護者の会連絡会への説明を考えている。きれいな学校に希望が集中するとの懸念については、今後特色のある学校づくりを進めるので、それに合わせて整備も進めていきたい。なお、けやき小は各学年1クラスオーバーしても大丈夫なようにつくっている。交通安全対策には万全を期すが、保護者の責任で選んでいただくのであるので、その点はご理解いただきたい。

【結果】賛成少数にて不採択

厚生委員会

「西東京市立・泉学童クラブの施設改善に関する請願」

【内容】泉学童クラブについて、全入所希望者の受け入れに伴う著しいスペースの狭小の改善を。

【説明・質疑応答】泉学童クラブの利用状況は、定員35名前後に対し今年度は45名であり、来年度も定員を超えることが想定される。現在1余裕教室で行っている



「障害児の親の就労保障を求める陳情」

「障害児の学童クラブ入所についての陳情」

【内容】1　各学童クラブの諸条件による障害を持つ児童の定員・入所基準等の見直しを

2　専門性のある指導員配置による全希望児童入所の実現を

【説明】学童クラブ障害児指導実施要綱により1施設3名以内、障害の程度はおおむね中程度で集団生活に耐えられる児童を対象としている。安全に保育するためには人数の制限は必要と考えるが、軽度の障害児を含む定員については今後検討していく。重度の障害児については、施設整備と専門職員の配置等の環境整備が必要なため今後の研究課題としていきたい。

【質疑応答】支援費制度の導入もあるので、保健福祉部とも調整を図りながら検討していきたい。受け入れ枠が非常に狭いため、隣の防災倉庫を視野に入れ、改善に向け生活環境部・教育委員会と協議している。

また、学童クラブの単独施設の建設への補助金について東京都に今後も働きかけていきたい。

【結果】挙手全員で採択

「西東京市道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例」

【内容】電線類地中化事業促進のための地下埋設管路外径区分の細分化、減免規定の追加等を内容とする占用料の単価改正を行うもの。

【結果】全員賛成で可決



「ひばりが丘消防分団を存続し充実を願う請願」

【内容】1　ひばりが丘消防分団を廃止せず充実を

2　耐震性貯水槽の増設と設置状況の情報提供を

【説明】合併による新体制への移行に伴う統廃合で、本年4月からの任期3年の間に実施することとしている。

防火貯水槽については年次計画により整備を進めており、本年度防災マップを作成し、情報提供する予定。

【質疑応答】火災時等の対応は、区域の担当分団だけではなく近隣分団を含めた4個分団が出動し、状況によってはさらに4個分団が出動する。また、分団の役割はあくまでも消防署の後方支援である。

【結果】賛成少数にて不採択

請願・陳情の出し方

市民の皆様が、市政等に関して議会に直接要望する手段として請願と陳情という制度があります。

請願は地方自治法第124条の規定により議員の紹介を必要としますが、陳情は必要ありません。

請願・陳情は、付託された委員会での審査を経て、本会議で賛否等の決定を行います。本会議で採択されたものは、市長や教育委員会などの執行機関に送付し、その実現に努めるよう求めます。

提出される場合の書式例は下記のとおりです。①願いの趣旨、②請願・陳情者の住所・氏名（署名または記名押印）、③提出年月日を記入の上、議長あてに議会事務局まで提出してください。

不明な点は、議会事務局にお問い合わせください。

請願（陳情）の書式例

表　紙

○○○○○○○に関する請願

紹介議員
氏　　名　印
氏　　名　印
氏　　名　印

※陳情の場合は、この表紙は必要ありません。

本　文

○○○○○○○に関する請願（陳情）

請願（陳情）事項
1. .....
2. .....

趣旨または理由
.....
.....
.....

年　月　日

郵便番号＿＿＿＿＿
住所　○市○町○丁目○番○号
氏名　西東京　明子　印
TEL

西東京市議会議長
○○○○　様

人事

議会運営委員辞任
林　一夫（5月23日）
渡部　保男（6月13日）

議会運営委員選任
浅野　高司（5月23日）

正副委員長互選
議会運営委員長
田崎　敏男（6月13日）

議会運営副委員長
中山　寛子（6月13日）

建設副委員長
朝倉　文男（6月17日）

訃報

田井文直 議員　逝去



田井議員は、平成14年6月11日に逝去されました。50歳

同氏は、平成11年5月旧田無市議会議員に初当選され、以来、建設委員会副委員長、予算特別委員会副委員長、青少年問題協議会委員等、数多くの要職を歴任されました。また、西東京市体育協会総務部長として地域スポーツの普及・振興にご尽力されました。

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

6月定例会　議案の議決結果一覧

平成14年6月7日～25日
○賛成　×反対　△一部反対　－退席

件名 ＼ 会派（ ）は所属議員数		自由民主党西東京市議団（8）	日本共産党西東京市議団（8）	西東京市議会公明党（8）	市民クラブ（4）	民主党西東京（4）	生活者ネットワーク（3）	市民の会（2）	自由民主党（2）	無所属（1）	無所属（1）	結果
改正条例	西東京市議会政務調査費の交付に関する条例、道路占用料等徴収条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他	損害賠償の額の決定についての専決処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
その他	工事請負契約の締結について	○	×	○	○	△	○	○	○	○	×	同意
議員提出議案	西東京市議会会議規則の一部を改正する規則、西東京市議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案	国から地方に税源を移譲し、地方自治の拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	可決
議員提出議案	メディア規制の人権擁護法案と個人情報保護法案に反対する意見書	×	○	×	○	○	○	○	×	－	○	可決
議員提出議案	住民基本台帳ネットワークシステムの８月稼動延期を求める意見書	×	○	×	○	○	○	○	×	－	○	可決
議員提出議案	社会福祉法人設立にかかわる調査に関する決議	×	×	○	×	○	×	×	○	○	×	否決
第2回　臨時会　平成14年5月23日												
議員提出議案	西東京市議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案	有事三法案（武力攻撃事態法案、自衛隊法改正案、安全保障会議設置法案）の撤回を求める意見書	×	○	×	○	○	○	○	×	○	○	可決
その他	工事請負契約の締結について(3件)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
その他	市税条例の一部を改正する条例の専決処分について、都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認

意見書　関係機関へ

国から地方に税源を移譲し、地方自治の拡充を求める意見書

政府が決めた「経済財政運営及び経済社会の構造改革に関する基本方針」は、「地方の自立」を国と地方の関係での「改革」の主題に上げている。しかし、地方分権の名のもとに、権限の移譲ということで多くの事業を市町村に移管しておきながら、税源の移譲については、まだほとんど具体化されていない。それどころか、事務によっては、移管に伴って地方の負担増となっているものもある。

今、自治体関係者の願いは、地方自治を拡充することであり、そのために国から地方への税源を移譲し、地方税の充実を図ることである。

国と地方の支出の割合は、現在国が4に対して地方が6である。一方、税収は逆に国税が6に対して地方税が4の割合になっている。このため、地方交付税及び国庫支出金が国から地方に移転されている。これが、国が地方をコントロールする財政的基盤となってきたのであり、この支出と税収の乖離を縮小することは、国による地方の不当なコントロールをなくし、自治体が「住民の福祉の増進」のために、自主的、自治的に施策を行う上で大きな意義を持つ。

税源を地方に移す際には、全体として国民に新たな税負担とならないこと、及び直接税、総合・累進制、生活費非課税の租税の民主的原則を貫くべきである。また、税源の地域的なアンバランスが存在するもとで、地方交付税制度の財政調整機能の充実とあわせて、税源の乏しい自治体でも財政運営に支障を来さないよう、全国的総合的な視野で検討すべきである。具体的には個人の所得にかかる税の配分を変え、地方税に重点を移すようにすべきである。

【提出先】内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、経済財政・ＩＴ担当大臣、衆議院議長、参議院議長

メディア規制の人権擁護法案と個人情報保護法案に反対する意見書

【提出先】内閣総理大臣、法務大臣、経済財政・ＩＴ担当大臣、衆議院議長、参議院議長

住民基本台帳ネットワークシステムの８月稼動延期を求める意見書

【提出先】内閣総理大臣、総務大臣

有事三法案（武力攻撃事態法案、自衛隊法改正案、安全保障会議設置法案）の撤回を求める意見書

【提出先】内閣総理大臣

請願・陳情の結果

（　）は付託委員会

採択されたもの

○公契約条例制定に向けての請願（総務）
○「公共工事における賃金等を確保する条例」（公契約条例）制定に向けた陳情（総務）
○「西東京市立・泉学童クラブの施設改善」に関する請願（厚生）
○障害者自立・社会参加支援センター設立に関する陳情（厚生）
○障害児の親の就労保障を求める陳情（厚生）
○肢体不自由児・者の学校卒業後の進路の確保を求める陳情（厚生）
○社会福祉法人西原樹林会の国庫補助金不正受給事件の解明促進を求める陳情（厚生）
○障害児の学童クラブ入所についての陳情（厚生）
○向台小４年３組児童及び教職員の緊急時避難路の見直しを求める請願（文教）
○下野谷縄文遺跡の保存・活用を求める陳情（文教）
○田無村穀櫃の復元を求める陳情（文教）
○スクールゾーン交通安全に関する陳情（建設）
○ごみ問題に関する陳情（建設）
○廃プラスチックの容器包装リサイクル法による処理を定めた分別収集計画の提出を求める陳情（建設）
○西東京市泉町５丁目付近の道路工事・排水に関する陳情（建設）
○東伏見駅にエレベーター・エスカレーターの設置と車いすの障害者も利用できるトイレの設置を求める陳情（建設）
○文理台公園広場の改修に関する陳情（建設）
○「合併記念公園は、障害者が高齢の方々の知識と経験をかりて働く場としたい」に関する陳情（公園緑地）
○住民基本台帳ネットワークシステムに関する施行延期を求める決議案採択についての陳情（建設）

不採択となったもの

○「市立小・中学校選択制実施を拙速に決定しないこと」を求める請願（文教）
○「学校選択制」については性急な実施をせず、慎重に行うことを求める陳情（文教）
○ひばりが丘消防分団を存続し充実を願う請願（建設）
○住宅リフォームの５％助成に関する請願（建設）
○容器包装リサイクル法の完全実施のため、ストックヤードの早期設置を求める陳情（建設）
○都道112号線（北原交差点）開通を求める陳情（建設）
○「市道た12号線の歩道工事について」に関する陳情（建設）

継続審査となったもの

○西東京市長選挙不正疑惑解明に関する陳情（総務）
○難病者福祉手当の存続に関する陳情（厚生）
○青少年健全育成法の制定を求める意見書提出についての陳情（厚生）
○普通学級に通う障がい児の介助についての陳情（文教）
○予約管理システムを公民館に適用することについての請願（文教）
○公民館と予約システムの導入についての陳情（文教）
○予約管理システムを公民館に適用することに関する陳情（文教）
○東京都・国に対し「新たな大気汚染公害被害者の救済を求める意見書」提出に関する請願（建設）
○外環の完成を前提にした調布保谷線の環境影響評価のやり直しを求める陳情（建設）
○保谷駅北口前ロータリー整備計画を見直す陳情（建設）
○一般市民の説明要望に関する対応改善を求める陳情（建設）
○防災無線放送による光化学スモッグ情報周知を求める陳情（建設・最終日付託）
○陳情・請願者の趣旨説明に関する陳情（議運）

編集後記

暑い日がまだ続きそうですが、皆様いかがお過ごしでしょうか？そろそろ、秋に向け健康チェック始めてみてはどうでしょうか？

さて、６月定例会は暑くなる前に無事終了しましたが、議場では熱き論議が繰り広げられました。学校選択制も来年度新１年生から導入される予定ですが、保護者から心配の声が寄せられました。

田無庁舎のロビー整備工事では、皆様にご不便をおかけしております。

議員の任期もあとわずかとなりましたが、編集委員一同、よりよい紙面づくりに努めてまいります。

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています